

日退教通信

No. 407

2023.4

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋二一六―二 日本教育会館6F
発行責任者 竹田邦明
TEL 03(5)2275)2197・FAX 03(5)2275)2081
E-mail nittaikyoo@gmail.com 〒101-0003 URL http://www.nittaikyoo.com

統一地方選

4月9日(日)、4月23日(日) 投票日

日政連候補者、108人の当選を勝ち取り、
政権与党に打撃を与えよう!!

憲法九条、改憲を許さない!!

第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

3月7日(火)、第5回役員会、第2回ブロック代表者・女性代表者会議を行いました。
今回の主な議題は、第50回定期総会の方針案の骨子について議論をしました。

政府は、昨年12月に「安保三文書」を閣議決定し、日本を「非核三原則」を守り、「軍事大国」にならず、相手から武力攻撃を受けたときのみ限定的に防衛力を行使する「専守防衛」に徹する国から、「先制攻撃ができる国」「戦争する国」にしようとしています。こうした動きを阻止するために、地方から自公政権の専横を許さない体制構築が必要です。

4月の統一地方選挙では、全国各地で108名(3月27日)の日政連議員候補者の当選を勝ち取りましょう!!

予告

日退教第50回定期総会

6月9日(金) 11:00 ~

日本教育会館8F 第2会議室

俳句

山口退教 浜田光明 (91歳)

あやめ咲く 戦ひなき世 願いたる
 非核三原則の 気運高まれ 春怒涛
 新緑や 平和貴しと 筆に込め
 沖繩の 心くみどり 夏深し



沖縄建白書10年 1月27日



ウクライナ侵攻1年 2月24日

① 社会保障の動向と課題として、
 「2023年度年金改定」「新
 型コロナ感染」「少子化対策と
 後期高齢者医療制度」「医療介
 護保険をめぐる動向」「基礎年
 金45年問題」

② 平和をめぐる情勢については、
 「安倍銃殺と統一教会」「ロシ
 アのウクライナ侵攻と安保三文
 書」「防衛予算倍増」「先島諸島
 のミサイル基地化」「GXと原
 発」「沖繩・辺野古新基地建設・
 日米地位協定」

協議事項では、ブロック代表
 者会議・役員会開催にあたって
 の「特徴的な情勢と課題」につ
 いて提案しました

③ ジェンダー平等については、
 「LGBT差別発言」「女性差
 別撤廃条約選択議定書」「日退
 教ジェンダー平等の取り組み」
 ④ 組織拡大強化について

引き続き、「統一地方選挙の
 取り組み」、今年6月の第50回
 日退教定期総会に向けて、①日
 程について、②方針案の取り扱
 いについて、③議長選出、④代
 議員の選出について提案確認
 し、更に「沖繩第11次交流団」日
 退教結成50周年記念「2023

年度の主な日程」「当面の日程」
 を確認しました。
 質疑では、北海道の北島さん、
 千葉の平野さん、兵庫の池田さ
 ん、神奈川の添田さん、秋田の
 川村さん、埼玉の石川さん、石
 川高の泊さん、兵庫の山名さん、
 北海道の山根さん、千葉高の越
 川さんから貴重な意見が出され
 ました。意見は第50回定期総会
 に提案される「活動方針案」に
 活かしていくことを確認し、閉
 会しました。

発言者



平野さん



北島さん



添田さん



池田さん



石川さん



川村さん



山名さん



泊さん



越川さん



山根さん

東北岩手 学習交流の旅に 参加して

神奈川高退 古座野郁子

初冬に入った10月30日～31日、学習交流会に参加した。岩手内陸部出身の私は、2012年7月東日本大震災後の沿岸部を息子の車で訪ねている。釜石には高齢の叔母が住んでいて無事だったが、大船渡、陸前高田、気仙沼の惨状を目の当たりにして海に向かって合掌することしかできなかった。

今回の旅は、熱心に話して下さる3人の語り部の方々が、あの大きな地震と津波に遭遇し、表面的ではない、そこに生きて生活している人々の体験やその思いをお聴きできた事に、心から感謝をしたい。現場に立っての説明や資料や映像で当時の思いを熱く語られたが、異口同音に「話す度にフラッシュバックで当時のことを思い出して辛くなるが、使命感を持って語り続けていく」と言われた。

私は襟を正しメモを取りながら聴いた。

最初に話された釜石の菅野さんは「津波でんでんこ」を地元の中学生が自主的に避難行動をとった「釜石の奇跡」と呼ばれる津波教育の成功例として話された。中学生が小学生の手を引いて山道を走り、やがて住民たちも続き、より高いところに登り600人の児童生徒が助かったという。その走った道を「いのちの道」と呼んでいて、私たちを乗せたバスは当時の急坂の長い道のりを辿った。

次に大槌高校職員の黒澤さんは、地震・津波に襲われた当日の夕方には、県立高校が避難所を開設し運営したことをつぶさに話された。津波の後、町なかの火災や山火事も起きている。震災の三日目の深夜から書いたメモ書きや日記を元に、6月10日までの3ヶ月間の記録を「三日坊主の日記」に纏めた冊子を頂いたが、その行動内容には驚くと共に胸にしみた。ご自分の家族や親族の事より被災した住民の為の行動を優先する

気持ちには、どこから生まれるのだろうと思った。震災直後の「高台にあり津波を免れた大槌高校が、まるでノアの方舟のように見えた」と記している。

最後に、田老地区の女性ガイドである元田さんから、防潮堤に登って海に向かい黙祷を捧げた後に説明を聴く。田老地区は「万里の長城」と呼ばれた高さ



参加者記念撮影

10m長さ2・4kmに及ぶX型の防潮堤が今回の津波で被害を受けていた。「住民の賛否はあるが防潮堤・防潮林は、命を守り人々が逃げる時間かせぐ」と体験者ならではの説明があった。

津波遺構の元観光ホテルは3階まで津波に襲われて鉄骨が剥きだし、私たちは4階に上がり、テレビでは見たこともない映像をDVDで見る。一人の老婆が家を出て歩き出しその背後から真っ黒な津波が押し寄せている瞬間をとらえていたが、私たち23人の参加者はハッと息をのみ涙ぐんでしまった。

復興が進み町や道路は整備されつつあるが、山間部には草ぼうぼうの空き地が各所に見られた。地元の新聞岩手日報には「2021年に『復興・創生期間』に入り、国は次の『心のケア』などのソフト面に軸足」とあったが、遅すぎるのではないかと思った。私自身もつと防災に目を向け具体的に行動できる日常を考えたい。人間の強さ・賢さ・隣人への愛、そしていのちの尊さを考え教えられた旅だった。

2022年度のカンパ報告 (3月15日現在)

ご協力、ありがとうございました。
詳細は、3月7日に開催された第2回ブロック代表者会議で確認しています。

収入 5,630,016 円

(繰越金、闘争・災害支援カンパ、ウクライナカンパ、利子)

支出 2,175,811 円

ウクライナ：22万円、福島地震：8万円、能登地震：46万円、台風14・15号：72万円、
辺野古闘争：40万円、原発闘争：10万円、トルコ・シリア地震：20万円、動員その他：12万円

■ 2023年度の主な日程 ■

5月連休明けに、単会へ第50回総会原案を送付
5月末までに、原案に対して補強・修正意見を提出

6月 8日 (木)	第1回役員会で方針 (案) 確認
6月 9日 (金) 11:00	第50回定期総会 (通常開催)
7月18日 (火)	第2回役員会
7月19日 (水)	退職者連合 第27回定期総会
7月28日 (金)	地方公務員退職者協議会 第54回定期総会
9月18日 (月)	第3回役員会・ 第1回ブロック代表者会議
9月19日 (火)	退連高齢者集会、 女性参加者の集い
9月20日 (水)	政治学習会、 地公三単産・地公退高齢者集会
予定	
10月12日 (木)	五者学習会
10月13日 (金)	日退教組織活動交流集会

今こそ、自書出版をしてみませんか！

これまで、毎回のように呼び掛けてきましたが、人生のあゆみ、教育実践、政治闘争、日教組の都道府県・支部・職場の歴史など、記録に残したいことがたくさんあるはずですよ。

新年度に向け、作成しませんか？
申し込みは、日退教と提携している郁朋社へ！

☎ 03-3234-8923
Fax 03-3234-8948

◆ 編集後記 ◆

マイナンバーカードを持っていない。
政府はあの手この手でマイナンバーカード作成に向けて誘導しているが、申請数は2月末時点でも7割に止まっている。2万円分のポイントを付与するとかいう姑息な手段の他、許せないのは本来任意であるはずのマイナンバーカードに健康保険証や介護保険証を紐付けして、持たざるを得ない状況を作り出そうとしていることである。マイナンバーカードを給食費の無償化の条件にするという自治体まで出てきたのには開いた口が塞がらない。

最近、運転免許証と一体化させることも決まり、いつ義務化されるかと身分証明書として免許証を保持している筆者は戦々恐々としている。確定申告もe-Taxが便利ですよと悪魔のささやきも聞こえてくる。それでも義務化されるまで作らんぞと思うのは、ひとえに今の政権が信用ならないからである。

(M)